

トヨタは「トータルグリーン」をめざしています。

「トータルグリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携させ、クリーンなクルマづくりをめざします。さまざまな環境目標を、バランスを取りながら達成し、総合的に環境性能の向上を図ります。

* 1.Eco-VAS[エコパス]:Eco-Vehicle Assessment System。
車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標値を設定。全開発プロセスを通じて目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。



地球温暖化を防ぐために。

〈燃費向上〉温室効果ガスであるCO₂排出量の低減をめざして、クリーンディーゼルエンジン(2GD-FTV)、6速オートマチック(6 Super ECT)などの採用により、徹底した燃費の向上を図りました。



〈省冷媒化〉エアコンの冷媒には、オゾン層を破壊しない代替フロンHFC-134aを採用しています。

都市環境のクリーン化のために。

〈排出ガスのクリーン化〉新世代のクリーンディーゼルエンジンの搭載など、排出ガスのクリーン化を推進しています。

環境負荷物質を削減するために。

〈環境負荷物質の削減〉鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界自主目標を達成しています。

TMT ハイラックス 環境仕様

車両型式	3DF-GUN125		
車両仕様	エンジン 型式	2GD-FTV	
	総排気量 (L)	2.393	
	燃料	軽油	
	駆動装置 駆動方式	4輪駆動	
環境情報	変速機	6AT	
	燃料消費率	WLTCモード 燃料消費率※1 (国士交通省審査値) (km/L)	11.7
		CO ₂ 排出量 (g/km)	221
		JC08モード 燃料消費率※1 (国士交通省審査値) (km/L)	13.6
		CO ₂ 排出量 (g/km)	190
	参考	「平成27年度燃費基準※2」をクリアしています。	
	主要燃費改善対策	直噴エンジン、電子制御式燃料噴射、過給器、インタークーラー、高圧噴射、アイドリングストップ装置	
	排出ガス	認定レベルまたは適合規制(国士交通省)	
		平成30年排出ガス規制適合※3	
		認定レベル値	0.63
	または適合規制値 (g/km)	0.024	
	NOx	0.24	
	PM	0.007	
車外騒音(加速/定常/近接)※4 (dB)	74(規制値)/-/76		
冷媒の種類(GWP値※5)/使用量 (g)	HFC-134a(1,430※6)/500		
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下※7)	
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止※8)	
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)	

- ※1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
- ※2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。
- ※3. WLTCモード走行。
- ※4. 平成28年騒音規制。
- ※5. GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数)
- ※6. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。
- ※7. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。
- ※8. 交通安全の観点で使用使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。